

第 35 回宮城県臨床細胞学会 学 術 集 会

学会案内・プログラム

会 長 伊 藤 潔

学術担当

徳 永 英 樹
戸 村 弘 樹
高 野 忠 夫
遠 藤 希 之
安 達 友 津
齋 藤 邦 倫
三 浦 弘 守
村 田 孝 次
岡 本 聡

会 期 令和 3 年 2 月 7 日（日） 9:20～16:30

Web 開催（Cisco webex 使用）

後 援 宮城県細胞検査士会

協 賛 中外製薬株式会社

第 35 回宮城県臨床細胞学会学術集会

会 長 挨拶

この度、第 35 回宮城県臨床細胞学会学術集会を、WEB にて、開催させていただくこととなりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学会をどのように行うか、中止、延期、規模縮小、現地通常開催と、様々な案を検討いたしました。最終的に、WEB にて、例年と同様の規模で開催できる運びとなりました。会の開催にあたり、真摯にご検討いただきました、渡辺みか副会長をはじめ、学術を中心とした委員および事務局の方々、会員の皆様に、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

今回は、教育講演 2 題、一般演題 4 題、特別講演 1 題、スライドセミナー 3 題を企画しています。

教育講演では、今、最も会員の皆様が関心を持っている事柄の一つである新型コロナウイルスにつき、その方面の第一人者である東北大学災害科学国際研究所災害感染症学分野教授の児玉栄一先生、および東北大学病院検査部臨床検査技師長の藤巻慎一先生に、ご講演を頂きます。また特別講演では、いよいよ実用化され稼働している東北大学病院でのがん遺伝子パネル検査の現況につき、東北大学病院緩和ケアセンターの杉山育子先生に、お話いただきます。いずれのご講演も、今後の細胞・病理診断の将来性に関わるのみならず、臨床的にもきわめて重要であり、会員の皆様方のご関心も高いと思われる内容で、大変楽しみにしております。一般演題やスライドセミナーも、セルブロック、髄膜種、舌擦過、頸部腺系病変、呼吸器と、多彩な領域の演題が集まりました。ありがとうございます。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大で、がん検診の受診者数は、例年に比較して 30%減少することが予想される（日本対がん協会報 2020 年 11 月号）など、細胞診と検診は、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化で、大きな影響を受けています。ニューノーマルが叫ばれる新たな時代にあって、今後の細胞診や検診の可能性と限界はどこにあるのか・・・この課題につき、今回も、限られた時間ではありますが、WEB 学会の場で、皆様方と一緒に、考えていきたいと思えます。ぜひ、活発なご討論をお願いいたします。

来年 2022 年 11 月 6 日には、仙台市で、第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会が開催される予定です。宮城県としては、2007 年以来、15 年振りの開催となります。今後の情勢により、WEB やハイブリッド開催も視野に入れる必要がありますが、ぜひ、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

社会情勢混沌の現状ではありますが、宮城県臨床細胞学会は、これからも会員の皆様方の細胞診断学の向上と親睦を進めていきたいと考えております。

今後ともご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 3 年 2 月 7 日

宮城県臨床細胞学会
会 長 伊藤 潔

会員ならびに演者の方へお願い

1. 会員の皆様へ

- 参加費は無料です。
- **事前参加登録による受付を行います。**
- 産科婦人科学会会員の皆様は、通常 e 医学会カードで参加登録しておりましたが、今回は事前参加登録の際に日産婦学会会員番号をお知らせください。参加単位：10 単位、機構単位：2 単位
- 日本臨床細胞学会参加単位を申請しております。
細胞診専門医 2 単位、細胞検査士 JSC10 単位、IAC6 単位
- 参加 URL を配布いたします。Cisco webex アプリまたはインターネット (Chrome または Firefox 推奨) から視聴可能です。
- 学術集会終了後に参加履歴の確認を行い、参加証明書を送付いたします。

2. 演者の方へ

- Cisco webex を使用し、オンラインでの発表になります。
- スライドの提示にはアプリが必要です。アプリをダウンロードし、アプリよりご参加ください。
- 事前に発表データを作成し、動作確認をお願いいたします。
- 後日、宮城県臨床細胞学会会報に発表内容を掲載させていただきますので、個人情報の取り扱いには十分にご注意下さい。

3. スライドセミナーについて

- **今年度は Web 投票を行います。**各自、宮城県臨床細胞学会ホームページより事前投票を行ってください。
- 解答は集計しますので、1 月 31 日 23 時 59 分までに投票してください。
- 14 時 30 分～14 時 45 分の 15 分間、出題症例のスライドを投影します。

4. ホームページについて

宮城県臨床細胞学会のホームページを下記 URL にてご覧になれます。

<http://miyagi-saibou.umin.jp>

5. 事務局からのお願い

勤務先・氏名・送付先の変更ならびに異動・退会等につきましては、資格更新時の確認作業軽減のためお手数でも事務局までご連絡下さい。各種研修会・事務連絡などはホームページとメール配信にて行なっております。メールアドレス未登録の方は登録をお願いいたします。

皆様のご協力をお願いいたします。

第 35 回宮城県臨床細胞学会学術集会プログラム

Cisco Webex での Web 開催

開会挨拶 (9:20~)

宮城県臨床細胞学会会長 伊藤 潔

教育講演 (9:30~10:50)

座長 東北大学災害科学国際研究所 伊藤 潔 先生

9:30~10:10

「COVID-19 のこれまでとこれから」

東北大学災害科学国際研究所 災害感染症学分野 児玉 栄一 先生

10:10~10:50

「COVID-19 と臨床検査 ～東北大病院検査部の取り組みの紹介～」

東北大学病院 検査部 藤巻 慎一 先生

休憩 (10:50~11:00)

特別講演 (11:00~12:00)

共催セミナー : 中外製薬株式会社

座長 東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 八重樫 伸生 先生

「東北大学病院におけるがん遺伝子パネル検査の現況」

東北大学病院 緩和ケアセンター 杉山 育子 先生

昼休み (12:00~13:00)

宮城県臨床細胞学会総会 (13:00~13:15)

一般演題 (13:30~14:30)

座長 宮城県立がんセンター病理診断科 伊藤 しげみ
仙台厚生病院病理検査室 諸橋 彰

(1) 13:30~13:45

アルギン酸ナトリウムを用いたセルブロック法における核の石灰沈着

仙台医療センター¹⁾、国立病院機構 弘前病院²⁾

○齋藤 邦倫¹⁾、八木橋 法登²⁾

(2) 13:45~14:00

眼窩内腫瘍として穿刺吸引細胞診が施行された髄膜腫の1例

大崎市民病院 臨床検査部¹⁾、同病理診断科²⁾

○高野 託願¹⁾、戸村 弘樹¹⁾、本谷 友紀¹⁾、大崎 美千子¹⁾、
谷内 真司²⁾、坂元 和宏²⁾

(3) 14:00~14:15

舌擦過細胞診の診断における真珠形成の有用性について

東北大学病院 診療技術部 病理部門¹⁾、東北公済病院²⁾

○向美 祐希¹⁾、三浦 弘守¹⁾、今野 かおり¹⁾、安達 友津¹⁾、
小泉 照樹¹⁾、菅原 隆讓¹⁾、山口 祐香¹⁾、吉田 詩織¹⁾、
渡辺 みか²⁾

(4) 14:15~14:30

子宮頸部腺系病変検出における p16^{INK4a}/Ki67 二重免疫染色の有用性

東北大学病院 産婦人科¹⁾、東北公済病院臨床検査科²⁾、仙台医療センター産婦人科³⁾

○宮原 周子¹⁾、岡本 聡²⁾、新倉 仁³⁾、土岐 麻実¹⁾、
徳永 英樹¹⁾、石橋 ますみ¹⁾、辻 圭太¹⁾、島田 宗昭¹⁾、
八重樫 伸生¹⁾

休憩、スライドセミナー出題症例 スライド投影 (14:30~14:45)

スライドセミナー (14:45~16:30)

座長 東北大学病院産婦人科

宮城県立がんセンター 臨床検査技術部

石橋 ますみ

植木 美幸

(1) 婦人科

出題 : 宮城県対がん協会

大場 朋子 (CT)

回答 : スズキ記念病院

佐藤 いずみ (MD)

(2) 呼吸器

出題 : 東北大学病院病理部

井上 千裕 (MD)

回答 : 気仙沼市立病院

高橋 裕明 (CT)

(3) その他

出題 : 宮城県立がんセンター病理診断科

伊藤 しげみ (MD)

回答 : 東北医科薬科大 病理部

築田 祐美 (CT)

閉会 (16:35)

<MEMO>